

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 地域高規格道路 一般国道404号 長岡東西道路	事業区分 一般国道	事業主体 新潟県
起終点 自：新潟県長岡市要町 至：新潟県長岡市西津町	延長 2.0km 他直轄1.3km	
事業概要 一般国道404号長岡東西道路は、長岡地方拠点都市地域の中心都市である長岡市の都市機能の集積を促進する路線であり、信濃川に架かる橋梁部の慢性的な交通渋滞の大幅な緩和や、長岡市と長岡地方拠点都市地域構成市町村、及び近隣市町村との連携強化を目的とした、延長10kmの路線である。 本事業は、長岡東西道路のうち現在整備区間に指定されている3.3kmを対象として整備を行うものである。		
H10年度事業化	H10年度都市計画決定	H12年度用地着手
H15年度工事着手	H15年度工事着手	
全体事業費	120億円(新潟県分)	事業進捗率(新潟県分) 52%
計画交通量	17,000台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.0 (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 130/202億円 (事業費:126/198億円) (維持管理費:3.8/3.8億円)
(全体3.3km)	総便益 (残事業)/(事業全体) 603/603億円 (走行時間短縮便益:535/535億円) (走行経費減少便益:51/51億円) (交通事故減少便益:17/17億円)	基準年 平成19年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.1（交通量+10%） B/C=4.2（交通量-10%） 事業費変動：B/C=4.2（事業費+10%） B/C=5.2（事業費-10%）		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保・・・信濃川渡河部の並行路線の渋滞損失時間削減が見込まれる ・国土・地域ネットワークの構築・・・長岡大環状道路の一翼を担う地域高規格道路である ・個性ある地域の形成・・・長岡駅から越後丘陵公園へのアクセス向上が期待される。他14項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 「長岡東西道路整備推進期成同盟会」が組織されており早期整備、供用の強い要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年4月1日に長岡市、中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町が合併、平成18年1月1日には栃尾市、与板町、和島村、寺泊町が加わり、「新」長岡市が誕生。 長岡市中心部の信濃川渡河部における断面交通量は増加傾向にある。 （平日12h交通量、長岡大橋 H11：29,667台→H17：29,851台、大手大橋 H11：14,029台→H17：15,938台、長生橋 H11：14,255台→H17：15,981台、越路橋 H11：13,943台→H17：18,650台）		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収・家屋補償を進めており、残事業は信濃川・渋海川橋梁を含む3.3km区間である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収・家屋補償等を早期に完了させ、3.3km区間の暫定2車線供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 信濃川に架ける橋種を変更したことにより、費用を削減した（直轄権限代行区間）。 暫定2車線供用時の本線を、完成時のオフランプ橋のみとする計画とした（当初はオン・オフランプを上下線とする計画）ことで、暫定2車線供用にかかる費用を大幅に縮減した。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。